

平成30年度 学校関係者評価書

評価者 学校評議員 5名

学校名 北海道南幌高等学校

1 本年度の経営方針

「個に応じたきめ細かな学びの提供」・「組織として一体感のある教育実践」

- 1 教職員一人ひとりの力を結集し、教職員の共通理解を深め、組織的で協働意欲に満ちた活力あふれる学校づくりを推進する。
- 2 社会で求める生徒の学力や資質・能力の育成に向け、主体的・対話的で深い学びの実践を日常の教育活動で推進する。
- 3 教えるプロとしての教師力の向上を図る校内研修を充実させ、教育公務員としての服務規律の厳正に努める。
- 4 教員全員体制のもと、生徒一人ひとりの多様な進路希望のニーズに対して、組織的・計画的・系統的な進路指導によるきめ細かな指導に努める。
- 5 学校と家庭、地域と連携・協働した教育活動を積極的に取り入れ、常に情報発信するなどして本校を理解し信頼される学校づくりに努める。
- 6 学校の校舎や設備、学習環境の適切な管理や整備に努め、生徒の健康や学習環境として安心して学べる環境づくりに努める。

2 本年度の重点目標

- 1 将来の展望に立ち、自ら学ぶ意欲と態度を養い学力の向上を目指す。
- 2 特別活動や生徒会活動及びボランティア活動を充実させ、協調性や社会性を養うとともに他を思いやる心豊かな人間性の育成を目指す。
- 3 保護者や地域との連携を強化し、開かれた教育課程の実践を目指す。

3 学校関係者評価

評価は4点満点としての平均点

	番号	評価項目	自己評価	自己評価の適切さ	改善の方策	改善に向けた取組の適切さ
学校経営	1	学校教育目標や重点目標を踏まえ、分掌や学年では重点目標や教育計画を設定している。	3.6	3.4	・教育活動全般において、生徒の実施を把握しながら、学校長の経営方針に則った分掌・学年経営を行う	3.6
	2	生徒の実態を踏まえた教育課程の編成や教科書の採択をしている。	3.3			
	3	昨年度の反省を十分生かした分掌、学年の教育活動計画を実践している。	3.2			
学習指導	4	基礎・基本の確実な定着を目指し、生徒の実態に合ったわかりやすい授業をしている。	3.6	3.2	・主体的で深い学びを実践するために、教科間で横断的に協議しながら、グループ学習などを取り入れながら自発的に学習する姿勢を身に付けさせる。 ・授業アンケートの結果を踏まえ、各教職員が授業を見直し、授業力の向上を図る。生徒からの評価だけでなく、教職員相互の授業評価を行い、その改善を行う。 ・読解力向上のために、新たな形式のテストを導入し、結果を分析して学力向上につなげる。	3.6
	5	個に応じたきめ細かな指導をしている。	3.5			
	6	自ら学び自ら考え、課題解決に主体的に取り組む資質能力を育てている。	2.5			
	7	生徒の学ぶ意欲や思考力・判断力・表現力などを含めた学力を育成している。	2.7			
	8	学習活動全般をとおして、言語活動の充実を図り、コミュニケーション能力を育成している。	2.9			
	9	学習評価の工夫・改善を行っている。	3.4			
	10	家庭学習を取り組ませる指導を行っている。	3.0			

	番号	評価項目	自己評価	自己評価の適切さ	改善の方策	改善に向けた取組の適切さ
生徒指導	11	基本的な生活習慣と規範意識を高める指導を行っている。	3.4	3.8	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員間での生徒に関する情報共有を図るために、共通のデータを活用できる個人カルテの仕組みを作成し、活用する。 ・自主的活動に取組む生徒を育むため、生徒が自ら企画・運営する活動として行事などにおいて指導していく。 	3.6
	12	生徒一人ひとりへの理解に努めて個に応じた指導を行っている。	3.6			
	13	いじめのない生命を大切にしたい指導を行っている。	3.7			
	14	部活動やボランティア活動の充実を図り、生徒の自主的な活動を促進している。	2.6			
	15	生徒指導において教職員の共通理解のもと、全校的な連した協力体制のもと一致して指導している	3.0			
進路指導	16	望ましい勤労観・職業観の育成をめざし、就業に関わる体験的活動やキャリア教育を推進をしている。	3.2	3.6	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒個々が主体的に進路活動できるよう組織として支援していく。 ・進路希望に関して、意志決定に役立たせるための必要な進路情報を的確に提供する。 	3.8
	17	主体的に進路選択できるよう、生徒、保護者に適切に進路に関する情報提供を行っている。	3.4			
	18	生徒や保護者の希望に応えられるよう組織的な進路指導を行っている。	3.2			
健康安全	19	性・薬物乱用防止教室等を通じて、心身ともに健康増進のための取組をしている。	3.5	3.8	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の安心で安全な学校生活を維持するために、教職員が日常の教育活動に関し注視して、日々生徒が生き生きと活動できる学習環境を整え 	4.0
	20	相談しやすい環境づくりを推進し、教育相談や生徒の居場所を作っている。	3.4			
	21	生徒が健康で安全な生活が送れるよう教育環境の整備を行っている。	3.4			
信頼される学校づくり	22	保護者や地域住民の意見、要望等を踏まえた学校運営を推進している。	2.9	3.2	<ul style="list-style-type: none"> ・地域と連携した取組を企画し、地域に必要とされる学校として、教育活動の充実に努める。 	3.8
	23	保護者や地域等への情報発信に努め、開かれた学校づくりを行っている。	3.1			
教職員の資質向上	24	公務員としての自覚を持ち、信頼される学校づくりを行っている。	3.8	3.8	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員が生徒の実態と学校課題に応じた研修会等を活用して、様々な指導法を身に付ける。 	3.8
	25	生徒の授業アンケートを活用して授業改善に努めている。	3.6			
	26	校内研修の充実と各種研修会へ参加している。	3.7			

○学校評議員会での意見

- ・特に本校生徒にはコミュニケーション能力の育成が求められると思います。
- ・全校一斉個人面談の取り組みは良いと思います。
- ・南幌高校に入学して、不登校だった生徒が登校できるようになったことは、教職員の努力を感じます。
- ・南幌高校の良いところは、小規模校ならではの小回りが利き、細かいところまで対応できることです。
- ・学び直しなどの授業により、南幌高校に入学して授業が理解できるようになった生徒がいることは良い。
- ・学校祭は多くの団体の協力を得て行われ、地域の方々も喜ばれていました。